

教科	科 目	単位数	学年・クラス
地理歴史	地理探究	3	3年2組（理）

1 使用教材

使用教科書	新詳地理探究・新詳高等地図
出版社	帝国書院
副教材等	新地理要点ノート
出版社	九州高等学校地理教育研究会・啓隆社

2 学習の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
② 思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業ノート	C	C	A	授業内容のまとめ方
レポート	B	B	A	自らの意見を論理的に表現しているか。
定期考査	A	A	C	知識のほか、資料の読み取り問題を含む

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易	現代世界における地理的な諸事象を基に、その事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する課題の要因、解決に向けた取組などについて理解する。
2 学期	第4章 人口・村落・都市 第5章 生活文化、民族、宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 共通テスト対策演習 第3部 持続可能な国土像の研究	現代世界を構成する諸地域の地域性と諸課題を捉え、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を身に付ける。 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。
3 学期	まとめ	